

# 日本食品化学学会 第13回総会・学術大会 プログラム

**5月31日(木曜日)**

9:10~10:15 座長:小関 良宏(東京農工大学工学部)

9:10~9:15 学会長挨拶 西島基弘(実践女子大学)

9:15~12:00 一般発表

1. コチニール色素のアレルゲン蛋白質の解析と夾雑蛋白質分析法の検討 第2報  
三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 ○荒川史博、津嶋容子、大西邦義、伊藤澄夫  
国立医薬品食品衛生研究所・食品部 穂山浩、吉岡靖雄、米谷民雄
2. カルノシン・アンセリン高含有 鶏胸肉抽出物の機能性と安全性について  
日本ハム株式会社中央研究所 佐藤美佳子、高畑能久、森松文毅
3. 特定保健用食品(トクホ)の安全性試験の実際と課題  
ーキシロオリゴ糖含有食酢飲料を例としてー  
大阪市立大学医学部附属病院 ○藤井比佐子、平山佳伸
4. 水溶性ルテイン(マリーゴールド色素乳化製剤)の易吸収性  
ヤエガキ醗酵技研株式会社 ○渡辺敏郎、井上美保、川田あゆみ、  
葦名毅、八木和幸、長谷川直樹  
畿央大学大学院総合栄養科学 辻啓介

10:15~11:00 座長:今井田 克己(香川大学医学部)

5. ホウセンカ抽出物のF344ラットにおける90日間反復投与毒性試験  
国立医薬品食品衛生研究所・病理部 ○高見成昭、今井俊夫、曹 永晩、  
広瀬雅雄、西川秋佳
6. ラット肝中期発癌モデル(伊東法)におけるバレリアンによる

肝発癌抑制作用の検討

大阪市立大学大学院医学研究科 ○加藤あゆみ、木下アンナ、  
魏 民、鰐淵英機

中央労働災害防止協会・日本バイオアッセイ研究センター 福島昭治

7. トロロアオイのラットを用いた 90 日間反復投与毒性試験

株式会社 DIMS 医科学研究所 ○伊藤光、河部真弓、難波江恭子、安藤好佑、  
古川文夫、玉野静光

11:00~12:00 座長:米谷 民雄(国立医薬品食品衛生研究所)

8. 臭素酸カリウムのラット腎臓における変異原性と発がん性の閾値の存在

大阪市立大学大学院医学研究科・都市環境病理学

○魏 民、山口貴嗣、アルサリミ ハムード、鰐淵英機

中央労働災害防止協会・日本バイオアッセイ研究センター 福島昭治

9. クローン牛産子由来農産物の安全性に関する研究

(1) 栄養分析 消化試験

財団法人畜産生物科学安全研究所 ○永田尚子、伊藤義彦、宮澤直美、  
山口真樹子、青木葉一

10. クローン牛産子由来畜産物の安全性に関する研究

(2) ラットを用いた 1 年間の飼養・生殖併合試験

財団法人畜産生物科学安全研究所 ○山口真樹子、伊藤義彦、伊藤雅也、  
赤木博、梅田景子

11. Tocotrienol の慢性毒性・発がん性試験について

国立医薬品食品衛生研究所・病理部 ○田崎雅子、前田真智子、岡村俊也、  
梅村隆志、広瀬雅雄、西川秋佳

12:00~13:00

休憩

12:10~12:50

評議員会

(国際会議棟 6 階)

編集委員会

(西 1・2 ホール 中 2 階会議室)

13:00~14:00

総会

	理事長挨拶、事業報告・事業計画の承認、役員選出、奨励賞授与等
14:00~14:10	次期学会長挨拶 扇間 昌規(武庫川女子大学薬学部)
14:10~14:50	奨励賞受賞者講演
14:10~14:50	座長:堀 伸二郎(関西医科大学)
受賞者講演(1)	「食品関連化学物質の評価のための新分析技術に関する研究」 :長岡(浜野) 恵(国立医薬品食品衛生研究所)
受賞者講演(2)	「容器包装の安全性確保に関する研究」 :六鹿 元雄(国立医薬品食品衛生研究所)
14:50~15:00	休憩
15:00~15:50	学会長講演
	座長:中澤 裕之(星薬科大学)
学会長講演	「食品添加物のリスクコミュニケーション」 :西島 基弘(実践女子大学生生活科学部教授)
15:50~17:30	特別講演
15:50~16:40	座長:白井 智之(名古屋市立大学大学院医学研究科)
特別講演1	「発がん物質のリスクアセスメント;科学的証拠に基づく新しい対応」 :福島 昭治 (中央労働災害防止協会・日本バイオアッセイ研究センター所長)
16:40~17:30	座長:平山 佳伸(大阪市立大学大学院医学研究科)
特別講演2	「食品の安全・安心」 :伏見 環(厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課長)
特別講演3	「食品安全行政の新しい取り組み」 :松田 勉(厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課長)

17:30~17:45	移 動
17:45~19:00	交流会 (ル・パルク 東展示場3階)